

井上ひさし生誕77フェスティバル12 第六弾

こまつ座第九十八回公演

井上ひさし 作 鶴山仁 演出

坂東三津五郎

坂東八大

櫻井章喜

林田一高

坂東三久太郎

芭蕉通夜舟

『井上ひさし』の『芭蕉』所収・新潮社刊

川西町フレンドリープラザ

九月二十二日(土) 九月二十三日(日)

開演 十四時三十分(開場は三十分前)

前売開始日 七月十一日(水) (PLA's 会員七月五日(木))

入場料 一般 三、五〇〇円 PLA's 会員 三、〇〇〇円 高校生以下 一、〇〇〇円
(全席指定消費税込)



音楽 宇野誠一郎

美術 堀尾幸男

照明 中川隆一

音響 秦 大介

衣裳 前田文子

宣伝美術 安野光雅

演出助手 大江祥彦

舞台監督 宮崎康成

制作 井上麻矢

瀬川芳一

谷口泰寛

お申込み・お問合せ

川西町フレンドリープラザ

電話 02338-463311

FAX 02338-463313

〒9990121

山形県東置賜郡川西町上小松10371

(※月曜休館)

<http://www.plaza-books.jp/>



芭蕉通夜舟

井上ひさし 作 鶴山仁 演出

「井上ひさし全芝居その三」所収 新潮社刊

そのものの時めいていた過去と、もう滅ぶしかない未来とを同時に匂わせるのです。しかもそれをたったの十七文字でやってのけようとして、わたしたちは骨身を削るのです。

日本の古典を洒落や滑稽さでもじる江戸談林俳諧の宗匠として名を馳せ、もてはやされた松尾桃青。素人の連句の会に出向き指導をすれば出座料、できた連句に「秀逸」や「珍重」などと点をつければ点料が懐に転がり込む。正直に「稚拙」「愚劣」と点をつければ、ののしられ叩き出されて、恨みまでをかってしまう。「こんな点者生活は、大鼓持ちとさほど運われないではないか。しかも談林派は、もじり尽くして行き詰り、果ては一日四千句と数を競う。そんなもの俳諧のたれ流し、下痢腹俳諧じゃないか」。物静かな深川へ居を移し、談林俳諧に決別し、俳号を好きな木にちなんで「芭蕉」にかえた。そして、ひとりぼっちのわびしさ「わび」に目をつけ、そのわびしさに徹して句作を行い俳諧の革新をはかるのであった。安住をのぞまず、托鉢僧のような乞食行脚、風に吹かれるカンナ層……。草が枕で、空行く雲が掛布団……。



坂東三津五郎

芭蕉を「人はひとりで生き、ひとりで死んでゆくよりほかに道はない」ことを究めるために苦吟した詩人」と、井上ひさしは考えて書き下ろした、芭蕉一門主流の歌仙三十六句にちなんで綴る全三十六景の一代記です。俳聖、松尾芭蕉役に、歌舞伎に止まらず、意欲的に現代演劇に取り組んでいる坂東三津五郎を迎え、鶴山仁が卓抜な演出の腕をふるいます。ほぼ一人芝居「芭蕉通夜舟」いよいよ、こまつ座初登場!!



坂東八大



櫻井章喜



林田一高



坂東三久太郎

2012年 9月22日(土)
9月23日(日)

〈両日とも 開演14:30〉

川西町フレンドリープラザ

入場料 一般=3,500円
PLA's会員=3,000円
高校生以下=1,000円
(全席指定 消費税込み)

電話 0238-46-3311
FAX 0238-46-3313

〒999-0121
山形県東置賜郡川西町上小松1037-1(※月曜休館)
<http://www.plaza-books.jp/>

